

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年3月29日			
	総事業費	1,239,000千円			
	交付金額	413,000千円			
	整備対象地域	当麻町全域			
	事業の内容	<p>当麻町では、これまで町内全域のブロードバンドゼロ地域解消に取り組んできた。住民(ブロードバンド誘致の会)と通信事業者と協力し、平成15年度に当麻町市街地にADSLサービスが開始された。しかし、ADSLの距離制限等により、その他の地区にADSLは提供されず、ブロードバンド未提供地域が4地区719世帯(平成21年4月末現在)となっており、早期にブロードバンドゼロ解消を要望されていた。また、町内には地上デジタルテレビ放送の難視エリアが4地区点在していたことや、防災無線の整備などの対応が急務となっていた。そこで、当該地域の情報通信格差を是正するため、町がCATV(HFC方式)を整備し卸電気通信役務により通信事業者に貸し出すことで、ブロードバンド未提供エリアを含め、全世帯へケーブルインターネット接続により超高速ブロードバンドサービスを提供した。また、地上デジタルテレビ放送の再送信を行うことで町内の地上デジタルテレビ放送難視聴地域の解消を図り、さらに、BSデジタル放送等の多チャンネルサービスを提供した。なお、全世帯への地域の防災機能とコミュニティー強化のため、IP告知システムを導入し町サービスとして行ってきた。また、CATV会社でのコミュニティーチャンネル等を活用し、住民への情報提供や相互のコミュニティーを図るために自主放送を実施した。</p>			
BB	サービス開始日	平成23年4月1日			
	サービス形態	卸電気通信役務			
	契約先	旭川ケーブルテレビ株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	3050	3050	3052	3069
	加入世帯数	915	1220	556	835
加入率(%)	30	40	18.2	27.2	
CATV	サービス開始日	平成23年4月1日			
	サービス形態	卸電気通信役務			
	契約先	旭川ケーブルテレビ株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	3050	3050	3052	3069
	加入世帯数	3050	3050	2935	2994
加入率(%)	100	100	96.1	97.5	
評価及び課題	<p>携帯端末(スマートフォン、ポケットWifiなど)の普及に伴い、固定インターネットについては整備当初の目標達成はしていない。しかしながらセット割りや安定した通信速度など固定インターネットのメリットなどを知らせることで着実に加入数は増えており、今後においても増加するものと見込まれる。CATVについても新規者(転入、転居など)については、ほぼ100%の加入を達成しているところである。今後も目標達成のために、サービス提供事業者と協力連携をとり加入促進の取り組みを続ける。</p>				